

G3北九州記念

AI注目馬

<評価 A>

15

<評価 B>

17

<評価 C>

5, 7, 12, 14

最終見解

昨年は内で脚をタメたディーブ持ちの馬が上位を独占。それを事前に読んで2着馬から勝ち馬のボンボヤージを相手本線にして3連馬券、馬連を的中。

今年も中距離G1血統とスプリント血統の組み合わせで内で脚をタメる可能性が高い馬を狙います。

本命は1ストーンリッジ。

父はディーブ。母父は芝1200mG1血統で高速決着も得意なフレンチデピュティ。

相手本線は9ママコチャ。

父は芝1200mのG1勝ち馬を複数出しているクロフネ。

近親にも芝1200mで重賞3勝のメイケイエール。距離短縮歓迎。

2、3も傾向は向きますが、昨年までも恵まれていて今年はそれ以上はないと判断し、3番手評価からは、4、5、7を上位に取ります。

G2札幌記念

AI注目馬

<評価 A>

7, 10

<評価 B>

なし

<評価 C>

5

最終見解

ディープ、ハービンジャー産駒に相性のいいレース。

昨年は特殊な馬場、展開に加え、今年ほどの能力を持ったディープ産駒が出ていなかったことで例外と考えます。

本命はシャフリヤール。

当レースに相性のいいディープ産駒。なかでも特に相性のいい母父米国型。全兄は古馬になっても大阪杯を勝ったアルアイン。

シャフリヤールも小回り 2000m で同様のパフォーマンスを発揮することを期待します。

相手本線は同様の血統タイプのダノンブルーガ、プログノーシス。

ジャックドールは昨年程度のパフォーマンスでは今年のメンバー、馬場では 5 番手評価が妥当と見立てています。